

MICE 市場トピックス（4月）

毎月、海外の複数市場について、JNTO 海外事務所が収集した MICE 関連の状況やトピックスをご紹介します。

- ① **MICE 関連の旅行会社や関係団体の動向**
- ② **MICE 関連の訪日意欲の有無・変化**
- ③ **イベント開催の有無とその感染症対策**
- ④ **その他の特記すべきトピックス、ニュース**（特筆する情報がない場合は、当該番号に「なし」と記載しています。）

本情報の転送や媒体掲載はご遠慮ください。※2021年4月末時点の情報です。

【台湾市場】

- ① 4月1日より台湾とパラオとの間で相互に到着後の自己隔離措置を免除するトラベルバブルが開始された。報道によると、第一便は約100名と座席がほぼ埋まったが、その内訳は企業の視察や保険会社等のインセンティブ旅行、旅行会社やメディアが7割以上で、一般的な旅行者は少なかったとのことである。ただし、その後はパラオから帰国後の自主健康管理が厳しい等の理由でほとんど座席が埋まらず、台湾政府は4月14日に自主健康管理の緩和を発表した。また、旅行会社は宿泊施設のレベルを下げるなどしてツアーの値下げを図った結果、小規模な社員旅行（5名程度）での利用例も出てきた。
- ② 台北事務所のヒアリングによると、規模が大きなインセンティブ旅行は複数の行き先に別れての催行となるが、特に成績がよい集団は欧州、次は日本、その次が東南アジア、と成績順で行き先をランク分けしているところが多いとのことである。ただし、ほとんどの行き先は1度きりであるが、日本だけは何度も行き先として希望される地域であるとのこと。これは、日本が地域によってまったく異なる姿を見せる多様性をもつこと、台湾との地理的な近さが便利で安心であり、かつ高額になりすぎないこと、台湾における日本人気といった理由によるものと考えられる。ポストコロナにおいては、遠方である欧州方面へのインセンティブ旅行は、アジア方面より回復が遅れることが予想されるため、この期間に日本のラグジュアリーな魅力を PR することで、最も成績の良い集団の行き先を欧州から日本的高级ツアーへと切り替えるチャンスとなる可能性がある。
- ③ なし
- ④ 台湾では、日本の自治体等からの補助金や支援プログラムの情報、新しいコンテンツや情報が求められている。特に、補助金や支援プログラムの申請方法について日本は複雑なものが多いため、できるだけシンプルなもの望ましいとのこと。

【香港市場】

- ① 香港で35年の歴史を持ち、MICEの取扱いも多かった大手旅行会社 Wincastle Travel が4月23日に廃業し、従業員も全員解雇となった。旅行代金を支払い済みの顧客は約200人で、総額は400万HKドル（約5,600万円）。2021年も新型コロナウイルス感染症により旅行再開の見通しが立たない状況であることが、大手旅行会社の経営にも影響を及ぼし始めている。他の旅行会社においても、従業員に対するリストラや無給休暇の取得要請が行われている厳しい状況下であるが、香港事務所に対し、オンラインを活用したスタディツアーの企画に関する問合せが入る等、新しい試みも見られる。
- ② ポストコロナのインセンティブ旅行について、一定の訪日意欲は維持されていると考えられる。ただし、香港とシンガポール間で到着後の隔離措置を免除するトラベルバブルが予定されている中、日本は香港に対してビジネストラックが実現しない等、日本政府の入国制限が他のデスティネーションよりも長引けば、需要を奪われる可能性もある。
- ③ 4月28日～5月2日にかけて、香港貿易発展局が主催した BtoC 向けイベント『Lifestyle Shopping Fest』がリアルで開催された。香港域内の1日あたり新規感染者数は0～1桁で推移しており、多くの来場者の姿が見られた。入場者は検温及び香港政府の指定するアプリ「安心出行」または紙に連絡先情報の記載が義務付けられる。



【最終日の様子】

- ④ 現地の旅行会社からは、インセンティブ旅行の企画にあたって、新しいスポット、ベニューの情報が求められている。

【ベトナム市場】

- ① ベトナムでは、メーデー（5月1日）にかかる4連休は旅行需要が高く、ツアーの売れ行きが好調であった。テト期間中は旅行を自粛した多くの人々が、今回の連休を利用してベトナム国内観光を予定したためと思われる。また、夏休みの旅行需要が高いため、ベトナム航空は4月24日から国内線6路線を新たに就航させた。しかしながら、4月28日より第4波と思われる感染拡大が起きており、5月に入って以降、ツアーのキャンセルが相次いでいるとの報告が入っている。
- ② インセンティブ旅行を取り扱う大手旅行会社によると、今年は海外に行けないため、代わりにハイエンドの国内インセンティブ旅行を実施するところが多いとのこと。
- ③ 4月20日、「国家観光年2021」が古都ニンビン省で開幕した。海外旅行が再開できない中で、国と観光関連団体は国内観光を強化する意向を示しており、本観光年イベントの一環で、開催地のニンビン省が38件、文化スポーツ観光省が4件、その他27省・市が103件の各種イベントを順次実施する予定。
- 4月16日から18日にかけて、ハノイの中心地にてハノイ市文化観光フェスティバルが開催され、多くの地方自治、旅行会社、航空会社、飲食店が出展した。開催時は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたため、多くの来場者が訪れ、賑やかなイベントとなった。複数の旅行会社によると、連休や夏休みが近いため、売上がかなり良かったとのこと。
- 4月17日～18日には、ベトナムで最大の日越交流イベントであるJapan Vietnam Festival (JVF)2021がホーチミンで開催され、JNTO含む75団体が参加、100ブースの出展があった。
- ④ 4月6日、ベトナム観光局は、海外からの旅行者がPCR陰性結果とワクチンパスポートを持っていることを条件にベトナム入国を可能とするよう、実施計画と共に交通省に要請した。航空業界はコロナ発生以降、非常に厳しい状況が続いているため、海外からの旅行者受け入れを早期に再開したいと考えている。ダナン市では、政府のワクチンパスポート方針の決定後に観光客の受け入れ等に係る手配を実施する主体として、旅行会社約10社を選定した。また、外国人観光客の受け入れに際して適切と思われる観光地、旅行商品を選定。同市観光局は、感染症を制圧できている近隣諸国をはじめ海外との情報共有を積極的に行っている。

【米国市場】（ニューヨーク事務所報告）

- ① ラスベガスでは、パンデミックからの復活を待つ間に複数の会場施設の改装を行い、6月1日から完全な再開を予定している。多くの新しいイベントの予約が入っているとのことで、市全体で会議やイベントを歓迎する努力が払われている。なお、会議主催者がラスベガスの安全や衛生基準を知るためのオンラインワンストップ情報センターが設置された。
- 【参考】<https://www.vegasmeansbusiness.com/meet-smart/>
- ② ニューヨーク事務所によると、最近はずかであるが、2022～2023年に催行される訪日インセンティブ旅行に関する問い合わせが出てきた。一方で、すでに旅行制限が緩和されたジョージアやギリシャなどの国が2021～2023年の案件の誘致に成功し始めている。外国人旅行者の受け入れを再開した、または今後の再開予定が明確な国々は、プランナーにとって確実な計画

を立てることができるため支持されている。

- ③ 米国では、州ごとに許可されるイベントのサイズが異なっており、フロリダ等の一部の州では、イベントのサイズ制限がなく、健康と安全に関するガイドラインに従うことは「推奨」となっており、イベント業界は大々的な宣伝を行っている。ラスベガスでは、会議は会場の収容人数の最大 80%または 250 人のいずれか少ない方で許可されているが、6 月から緩和される見込みである。米国では複数の大規模イベントが既にリアルで開催されており、例えば、3月に開催されたアトランタジュエリーショーは、参加者 2,700 人と出展者約 200 団体が参加した。コロナ以前は同じスペースに、参加者 3,000 人と出展者約 325 団体が参加していた。本イベントでは、毎日の健康チェックと体温測定、マスク着用、公式イベント外での懇親会開催禁止、登録ブース間のスクリーン設置、消毒液設置、清掃強化、社会的距離を確保した間取り図への変更等の健康ガイドラインが設定された。
- ④ ミーティング・プランナーは、パンデミック後の計画を開始するために、日本の各施設の再開のガイドライン、会場の収容人数と機能（オンライン設備、新たな制限の有無等）に関する最新の正確な情報を必要としている。

【米国市場】（ロサンゼルス事務所報告）

- ① 米国は、トランプ政権時代になされた旅行制限緩和を取り消し、世界の国々・地域の 80%をレベル 4 の旅行禁止に引き上げた。（レベル 3 の日本は含まれない。）
最近の Northstar Meetings Group の調査によると、プランナーの大多数は、最も早くて 2021 年の第 3 四半期が、クライアントが再び直接快適に対面できる時期だと感じている。
- ② アドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーションは、2021 年 9 月に北海道で開催される予定だったアドベンチャー・トラベル・ワールド・サミットを、オンラインイベントに変更することを決定した。
【参考】<https://www.adventuretravel.biz/events/summit/japan-2021/>
- ③ MPI World Education Congress は、6 月 15～17 日にラスベガスのシーザーズ・パレスで開催されるリアルの対面イベントを計画どおりに開催する予定。
- ④ なし

転載禁止（©JNTO）

<JNTO 担当部署> MICE プロモーション部 TEL : 03-5369-6015 E-mail : convention@jnto.go.jp